

Tera



目 次

【 巻頭言 】 平成22年度の基本方針	寺山 浩三	1
【 事業報告 】 平成21年度新現役チャレンジ支援事業（モデル事業）の活動	粟野 順二郎	2
【 事業報告 】 大阪住之江「N社」サポート活動報告	中西 政貴	6
【 事業報告 】 わかやま「K社」サポート活動報告	中西・村岡・宮本	7
【 事業報告 】 吹田市ビジネスコーディネート事業の活動報告	粟野 順二郎	8

「平成22年度 基本方針」

理事長 寺山 浩三

1. 改革と革新
2. 業容の拡大
3. 公的機関との協調

平成 2 2 年度の基本方針

近畿産業技術クラスター協同組合
理事長 寺山浩三

平成 2 1 年度(第 4 期)の世界の動きは、リーマンショックを受けて大恐慌が発生し、日本の中小企業の打撃は大きく、政府の介入も空しく終え、新政府も中小企業の支援については無策であり、内需拡大は望むべくもない。

この中であって我々近畿産業技術クラスター協同組合(KSTC)としても中小企業を取巻く産業界の流れを認識して方針を立てて中小企業を支援しなければ、その効果を発揮できないと思われる。

従って、方針 としては「改革と革新」とした。

今世界を支えつつ、電話機もコード付からワイヤレスに進歩し、更にはカメラ付、メール付へと発展し、更に将来はパソコン不要の時代(又はパソコンと電話機が一つになる時代)の到来も预言される。

これにより分野の拡大は内需用の拡大につながる。

方針 に「業容拡大」がKSTCにとっては最大の目標であり、このためには中小企業の支援とプロジェクトが重要となり、人員の拡大も当然必要となるであろう。

方針 として「公的機関との協調」とした。

方針 には公的機関に関連する介護・航空・エネルギー分野であるが、この中で大至急に取り組まねばならぬ分野が介護分野であり、日本の中で最も遅れている非合理化の世界で問題山積みであることを念頭において取り組むことを決意したい。

以上

【事業報告】

平成21年度・新現役チャレンジ支援事業（モデル事業等）の活動

独立行政法人中小企業基盤整備機構が公募した『平成21年度・新現役チャレンジ支援事業（モデル事業等）』に、我々近畿産業技術クラスター協同組合が提案したモデル事業が採択された。その期間は、9月1日～翌年1月31日迄で、その活動内容について紹介する。

1、はじめに

当近畿産業技術クラスター協同組合は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が平成20年度に引き続き実施する『平成21年度・新現役チャレンジ支援事業（モデル事業等）』（略称：新Sプロと呼称）に応募し、全国40数社応募の中から当組合ほか11社が採択された。

本事業は、「大都市の新現役（企業OB）が持っているスキルや情報・知識を、地方の中小企業支援・指導で活用することにより、地域経済の発展・活性化を目指すものである」。

その為に、先ずセミナーを開催し、ここに集まる中小企業の悩みや課題を聞きだし、この課題に一番適切な新現役を地方事務局と連携して選出し、中小企業とマッチングさせることがこの事業の目的である。

このセミナーは、時代の流れを考慮して、航空機産業参入セミナー（Aプロ） 健康・介護産業参入セミナー（Rプロ） 環境・エネルギー産業参入セミナー（Eプロ）の3つのタイプのセミナーを合計7回開催することとした。

2、実施計画

具体的なセミナーの開催計画は一覧表の通りである。

この「新Sプロ」、受託は決定したものの正式契約書の取り交わしは、期間もあと1ヶ月10日しかない12月19日で、セミナー会場取りやセミナー参加者の人集めが、確信を持って予約出来なかったため、全体に遅れた計画となった。



航空機産業参入セミナー風景

新Sプロのセミナー行事一覧表

新Sプロ幹事会

2009年10月20日(月) (改訂)11月6日

No.	A・R・E7日	開催日時	開催場所	セミナー名	講師名	責任者	セミナーの概要(案)	
1	A1	航空機	2009・11・27(金)	マイドームおおさか 8F 第3会議室	航空機産業参入支援セミナー(2) 航空機の部品製造技術(1)	炭田 山内 松田	三原	航空機部品の製造技術 ヘリコプター部品の製造技術 分かりやすい品質管理
2	A2		2009・12・17(木)	経営支援プラザうめだ (大阪駅前第3ビル)	航空機産業参入支援セミナー(3) 航空機の部品製造技術(2)	炭田 野田 殿村	三原	最近の航空情勢 航空機部品・機体の製造技術 航空機エンジンの製造技術
3	A3		2010・1・14(木)	三菱重工名古屋航空機 (飛鳥工場)	航空機工場見学会		三原	H-2 A/Bロケット組み立て 各種航空機の構造部分組み立て 技能訓練場等を見学
4	A4				(中小企業・現地指導会)		(三原)	(航空機専門家による現地指導)
5	R1	健康・介護	2009・11・6(金)	県立飯塚研究開発センター (福岡県飯塚市)	健康・介護セミナー(1)	豊田 大山 松原	寺山	認知症ケアの最新情報 福祉用具の開発事例紹介
6	R2		2009・12・2(水)	大阪府立介護情報・研修センター(茨木市)	健康・介護セミナー(2)	岡田 藤井 早坂	近藤	介護の現状と課題 介護ロボットの現状と課題 各種センサーの現状と課題
7	R3		2010・1・30(土)	(福岡商工会議所)	健康・介護セミナー(3)	早坂 大山 松原	寺山	認知症ケアの最新情報 福祉用具の開発事例紹介 介護ロボットの現状と課題
8	E1	環境・エネルギー	2009・11・24(火)	牧田商工会議所 (牧田市)	環境・エネルギーセミナー(1)	村岡 高田 橋本	村岡	エコと電力概論 環境とバイオ 各種電池の現状と課題
9	E2		2009・12・18(水)	経営支援プラザうめだ (大阪駅前第3ビル)	環境・エネルギーセミナー(2)	村岡 高田 橋本	村岡	エコと電力概論 環境とバイオ 燃料電池の現状と課題

3、具体的活動：A プロ（Aeroplane）

この航空機産業参入セミナーは、近畿経済産業局が主宰する「国際航空機市場参入支援事業」の協同プログラムとして参画するものである。

このA プロでは、2回のセミナーと1回の三菱航空機工場見学を実施により、30数社の組織化を得て、10数社との新現役マッチングを果たしたいと考えている。

A プロの途中経過を紹介する。

3 - 1) A プロセミナー



「航空産業セミナー」(11月27日)のご案内

～ 航空機の部品製造技術(1)～

メインテーマ 航空機の部品製造技術(1)

日時 平成21年11月27日(金) 13時～17時

マイドーム大阪 8階第3会議室

場所 〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋2
9 電話 06-6947-4321

13:00-14:00	航空機部品の製造技術と生産の障壁	(株)航空システム 代表取締役 炭田潤一郎
14:00-15:00	ヘリコプター部品の製造技術	中日本航空専門学校 講師 山内信義
15:00-15:15	(休憩)	
15:15-16:15	わかりやすい航空機の品質管理	(株)ティ・エフ・マネジメント コンサルタント 松田一三
16:15-17:00	公開討論、質疑応答	近畿産業技術クラスター協同組合

3 - 2) A プロセミナー



「航空機産業セミナー」(12月17日)のご案内

～ 航空機の部品製造技術(2)～

メインテーマ 航空機の部品製造技術(2)

日時 平成21年12月17日(木) 13時～17時

中小企業基盤整備機構経営支援プラザ梅田セミナーホール

場所 大阪市北区梅田 1-1-3 大阪駅前第3ビル19階 電話 06-6431-1071

13:00-13:20	最近の航空情勢	(株)航空システム 代表取締役 炭田潤一郎
13:20-14:40	航空機エンジンの製造技術	三菱航空機技術顧問 殿村兆史
14:40-14:50	(休憩)	
14:50-15:50	部品及び機体の製造技術 参入垣根の背景と参入考察を含めて	東洋航空電子(株) 常務取締役 野田新見
15:50-16:20	組織の活動計画 航空機産業チャレンジサポートプロジェクト	近畿産業技術クラスター協同組合
16:20-17:00	公開討論、質疑応答	近畿産業技術クラスター協同組合

3 - 3) A プロ工場見学

A プロで最も期待されているのがこの工場見学で、中小企業にメールを発信するや2日間で申し込み定員50名になり、締め切るほどの盛況ぶり。1月14日の三菱航空機飛島工場で多くのことを見聞き、航空機産業参入のきっかけを作っていただければ幸いです。

4、具体的活動：Rプロ（Robot）

時代の流れを先取りして、また当組合理事長方針にもあるように、健康・介護にも軸足を置いて活動しようと考え、介護ロボットのRをとってRプロと命名して取り組むことにした。

4 - 1) Rプロ

寺山理事長の元職場が北九州の飯塚にあったことから、Rプロセミナーを飯塚研究開発センターで開催した。これから益々増える認知症患者を取り上げ、認知症ケアの最新情報、福祉機器用具の現状と課題、福祉用具の開発事例紹介の講演を用意し、好評を博しました。



飯塚での健康・介護産業参入セミナー風景

4 - 2) Rプロ

大阪地区は、茨木市で健康・介護産業参入セミナーを開催し、多くの皆さんに参加いただいた。



介助・介護・福祉機器産業 セミナー開催のご案内

と き	平成 21 年 12 月 2 日(水) 13:00~17:30	
ところ	大阪府立介護情報・研修センター 第一会議室(5F) 〒567-0813 大阪府茨木市大住町 8-11 TEL (072)626-3381	
13:00 ~ 13:10	ご挨拶	近畿産業技術クラ スター協同組合

		理事長 寺山 浩 三
13:10 ~ 14:10	介護の現状と課題	株式会社 日本医 療事務センター 関西ブロック 教 育事業課 講師コディネーター 岡 田享子 氏
14:10 ~ 15:10	介護福祉ロボットの 実例と一般例	株式会社 ロボメ カニクス研究所 代表取締役 藤井 康夫 氏
15:10 ~ 15:20	(休憩)	
15:20 ~ 16:20	サービスロボットへ の取り組みと産業 用ロボットの活躍事 例	株式会社 安川電 機 営業統括本部 営 業推進担当 部長 早坂 康晴 氏
16:20 ~ 16:50	介護・福祉機器関係 展示物見学	
16:50 ~ 17:10	近畿産業技術クラ スター協同組合概略	近畿産業技術クラ スター協同組合 常務理事 粟野順 二郎
17:10 ~ 17:30	名刺交換会・相談会	近畿産業技術クラ スター協同組合員

4 - 3) Rプロ

もう一つ、Rプロのセミナーを1月30日に北九州博多で開催することを予定している。

今回は、産業ロボットで世界一を誇る安川電機の地元で、お力をお借りして介護ロボットの講演をお願いしている。

期待していただきたい。

5、具体的活動：E プロ（Energy）

R プロと同様に、時流と理事長方針に則り、2回の環境・エネルギー産業参入セミナーを企画した。内容的には同じ講演を、地元吹田商工会議所と大阪梅田駅前ビルで開催し、地域中小企業の多数の参加を得て好評であった。

5 - 1) E プロ 、 E プロ

「環境・エネルギー」セミナー開催のご案内

13:00 ～ 13:10	開会の挨拶	近畿産業技術クラスター協 同組合 理事長 寺山 浩三
13:10 ～ 14:10	地球温暖化と私た ちの対応	NPO 法人 テクノメイト コープ 「環境塾」講師 浅井 陸之 氏
14:10 ～ 15:00	ECO と電力	近畿産業技術クラスター協 同組合 博士(工学) 村岡 隆
15:10 ～ 15:50	二次電池：特にニ ッケル水素蓄電 池、リチウムイ オン電池について	財団法人 社会生産性本部 エネルギーコミュニケーター 高田 寛治 氏
15:50 ～ 16:30	バイオマスと燃料 電池について	岩谷瓦斯株式会社 技術部 商品開発担当部長 橋本 敏明 氏
16:30 ～ 17:00	新現役チャレンジ 事業 概略説明 全体質疑応答 閉会の挨拶	近畿産業技術クラスター協 同組合 常務理事 栗野 順二郎
17:00 ～ 17:30	サポートご相談会	近畿産業技術クラスター協 同組合員



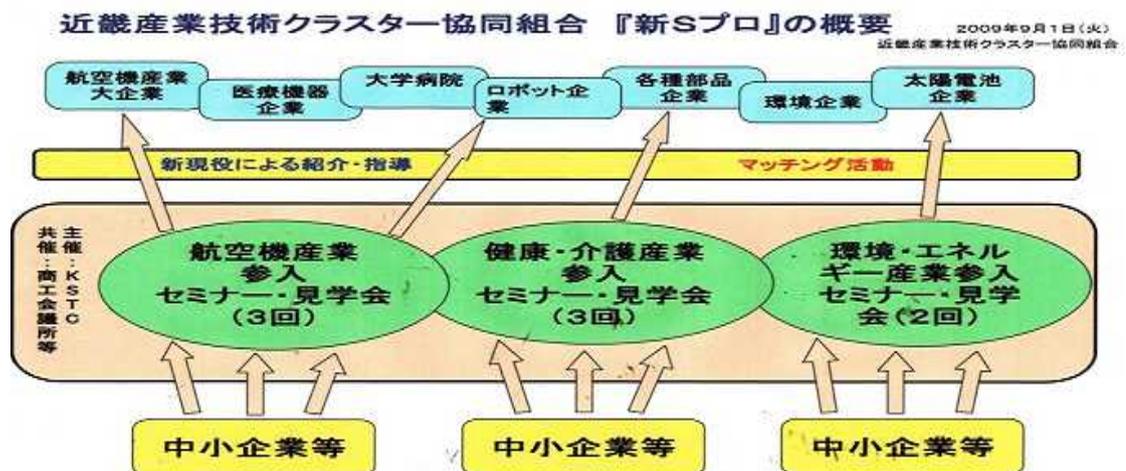
環境・エネルギー産業参入セミナー風景

6、終わりに

これまで新Sプロで多くの中小企業の皆さんにお集まり頂き、これからは、これら中小企業の悩みや課題をお聞きし、これに対する課題解決に、新現役の皆さんのお力をお借りすべくマッチング活動を精力的に行なって締めくくりとしたい。

その一連のことを概念図にまとめたのでご覧下さい。

(栗野 順二郎 記)



【事業報告】

大阪 住之江 「N社」サポート活動報告

昨年度、5月に「大阪商工会議所」より、「中小企業緊急雇用安定助成金制度」により休業による助成金を受給しているN社から、「休業」に加えて「教育訓練」の助成金も受けたいので講師をお願いしたい。教育のテーマは「5Sの実践」という要求があり6/4日に企業を訪問し、早速6/25日から活動に入りました。

1. N 株式会社の概要

業 種 : 精密板金 / NCレーザー加工 /
金属プレス加工業

事業概要 :

- ・産業機械部品 ・金融機関向ATM ブース
- ・高速道路資材 ・各種精密板金(小物から大型製品)

資本金 : 1,000万円 従業員 : 20名



2. 助成金受給のための「5Sの実践」活動

教育訓練を実施すれば、更に6000円/人・日が助成されることを期待した活動であった。発想は前向きなものではなかった様に思うが、座学のみでは現場は変わらない。

実践研修と称して実践を8割と大きく取り入れ、活動した。

3. 教育訓練の助成金受給活動は成果が出る

強制的に仕事を休止して、実践する「助成金活動」は、目を見張る大きな成果が出る。

設備は、購入以来、意識して大清掃はしてこなかった。そのため長年の汚れでコテコテで、いつ故障が起こっても不思議ではない状態であった。

全員で1台/回を2~3時間かけて徹底清掃を順番に実施し、見違える程の設備に蘇った。



4. 改善事例集 (簡単な改善実施報告書)

毎週2日2班が交互に休業する。その1日/週を教育訓練として活動に当てる。その際の全ての活動を改善活動として、改善前後の写真により説明したもの(改善事例集)を掲示する。活動板には所狭しと、改善事例集が掲示される。



5. 社長の目が変わった

期待していなかったことが現場で起こっている。お客様より職場の大きな変化で褒められる。

従業員が自主的に「改善活動」をしているのではないか! 「この不況の間に、もっと改善を加速したい」、「5S」に限らず、全ての改善と取り上げて指導して欲しい。もっと時間を掛けて欲しい。

指導頻度を1回/週PMのみから、2回/週(終日)の要請により、TPM活動にも入り「マイ・マシーン活動」で、設備管理の仕組み構築から、設備管理責任者を設備毎に決定し、掲示し、計画表の通りに「日々点検」「週点検」「1ヶ月点検」「3ヵ月点検」「年点検・法定点検」をカレンダー化して、“しくみ”によるTPM活動へと進めています。



6. 緊急課題

景気が回復し、特別な日が取れなくなったら、しくみが停止する。それまでに定着が必要で、現在大きな悩みに直面しています。(中西政貴 記)

【活動報告】

わかやま「K社」サポート活動報告

昨年度に引き続き「財団法人わかやま産業振興財団」より成長戦略企業支援計画の認定企業である「株式会社 K社」のサポート依頼を受け、平成21年度成長企業育成支援に係るサポーターとして活動が一段落しましたので報告します。

1. 株式会社 K社 の概要

事業概要： 精密電子部品における金型から
量産までの一気通貫事業

資本金： 約3億円

従業員数： 約200名

2. 課題内容

更なる5S、ムダの排除による経営改革
(やらざるを得ない仕組みの構築)

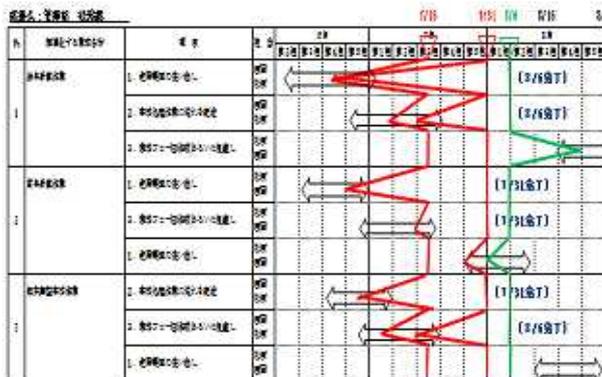
3. 社長が期待する達成したい姿

利益体質の強化を目指して“やらざるを得ないしくみの構築”により非製造部門も含めた業務の「見える化」と「標準化」を行い、すべての業務を業務フロー（ルール）通りに実行する。

発表会風景



ガントチャートによる計画・進捗トレース方法例



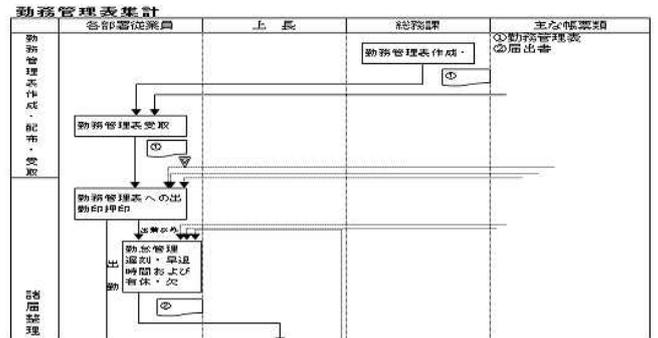
4. サポート推進計画

会社の小集団活動として、直接・間接を含め、課単位で20部署に分け、責任者と推進担当者を決め、各部署の業務を棚卸し、優先順位を付けて計画と進捗及び遅れ挽回施策等を定期的にフォローできるガントチャート&トレース法を実施した。

事務局の定例チェック[赤トレース]は毎月15日と月末の2回、さらに会社幹部とサポーター出席での報告会[緑トレース]は月1回、合計月3回の検討会で自部署が他部署と比べて優劣・進み遅れの状況が「見える化」されて、問題点が明確になった。

業務のフローチャート化については、使用する記号を事前に決定し、それに基づいて各部署のレベルの整合化を図った。文書・帳票・フローチャートの仕様書3点セットが揃って業務の重複、無駄も分り易くなった。

フローチャート事例（部分紹介）



5. 成果

当初は各部署で、戸惑いが見られたものの中途からは成果を生き生きと発表する部署も現れ、担当者の自覚も増し、「見える化」と「標準化」の効果を実感している部署も見られるようになった。

これぞ「やらざるを得ない仕組み」の一つであると感じられた点である。

サポーター：村岡隆・中西政貴・宮本方人(記)

【活動報告】

吹田市ビジネスコーディネーター事業の活動報告

吹田市が平成21年4月、産業振興をするためには、吹田市内の産業構造がどうなっていて、どのような悩みや課題を持ち、どうして欲しいかを知る必要があった。そこで吹田市は、「ふるさと雇用再生基金事業」を利用して、企業OBを雇用し、彼らに中小企業を回ってビジネスコーディネーターしてもらおうという事業契約要請があり、当組合が受託し、活動を推進している。

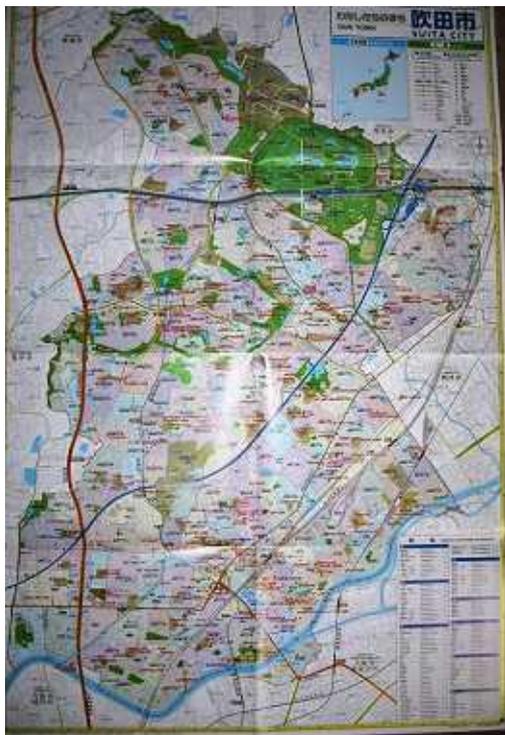
1、はじめに

かねがね私共近畿産業技術クラスター協同組合（略称：KSTC）は、居を吹田市内本町に構え、中小企業を元気にする仕事をしていることから、吹田市の仕事で技術的な部分を担当できないか、お役立ちが出来ないかと捜してきたが見つからなかった。

そんなおり、吹田市役所産業にぎわい部の方からビジネスコーディネーター事業の話が飛び込んできて、早速契約の準備にかかった。

内容は、吹田市内のものづくり中小企業500社を訪問して、中小企業が持っている悩み・課題や行政への要望をお聞きし、分かっていることはお答えしたり無料相談したりして解決し、即答できないことは市役所に持ち帰って市で対処してもらおうというものである。

そんなことから我々も競争入札し、受託した。



2、活動内容

7月1日から平成22年3月末日までの契約で、4人の企業OBを雇用することから始まる。当KSTC組合では初めての雇用で、賃金・労働時間などを整え、ハローワークに求人依頼をする。5人の応募があり、面接の結果、4人の企業OB・定年退職者の雇用を決定した。

7月1日に採用通知書を渡し、吹田市役所産業にぎわい部で吹田市の産業の現状説明を受け、また今回の吹田市ビジネスコーディネーター事業の内容・目的を詳細に説明した。

また車で、ものづくり企業の多い市内東部・南部を回り吹田市の概要を掴んだ。

さてこれからはどうして市内のものづくり中小企業を回るのか色々議論して、

企業調査表の作成

吹田市のビジネスコーディネーターであることが分かるパンフレットの作成

2人1組で自転車で回るための自転車の用意

など準備をした。

さあこれから中小企業訪問、事前に電話で訪問日時の調整をして週間訪問日程表を作成し、それに従ってものづくり企業を訪ねる。



コーディネーターの皆さん

これまでこのような訪問は無かったので、企業側も戸惑いがあり、いきなり訪問拒否にあった例は30%にもものぼる。

暑い真夏の7月、8月、9月を汗をふきふき企業訪問。中には廃業の張り紙の会社、中にはこんな不況にもかかわらず夏のボーナスを180万円も出す企業と様々で、世相の反映を目の当たりにして現実の厳しさを噛み締める。



コーディネーターとの打合わせ

3. 今後の課題

11月で500社を超える企業を一巡したので、企業調査のまとめを開始した。またどんな悩みや課題・要望が多いのかマトリックス整理をしている。これらをまとめると、吹田市役所にどんな提案が出来るのか今必死で検討している最中である。

(栗野 順二郎 記)



コーディネーターと市内概要調査

近畿産業技術クラスター協同組合

(テラテックコンサルタント)

〒564-0032

大阪府吹田市内本町2-7-12

TEL: (06) 6317-2439

FAX: (06) 6317-0579

Eメール: info@kstc.jp

URL: www.kstc.jp (新ホームページ)

新ホームページが完成しました。ぜひご覧ください。

アクセス

JR吹田駅下車 南東の内本町コミュニティセンターを南へ(徒歩10分)

阪急吹田駅下車 メイン通路を南東へ、トヨタ自動車販売店を東北へ(徒歩15分)





寺山南楊氏作品
南北墨画会常任理事

近畿産業技術クラスター協同組合
テラテックコンサルタント

発行日 : 平成22年1月20日
発行者 : 寺山 浩三
編集委員 : 栗野 順二郎 近藤 穆
 大久保 雅巳 宮本方人
校正委員 : 平井 佳紀